

平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

路線名	1日当たりの 運行回数	1日当たりの利用者数		
		計画目標	見直し基準	平成29年度 実績
①天神電鉄小野駅線 (南山経由)	0.5回	3.0人	1.0人	5.0人
②天神松沢線 (南山経由)	1.0回	1.0人	1.0人	0.9人
③天神電鉄小野駅線 (東地区循環南山経由)	0.5回	5.8人	3.0人	7.1人
④天神松沢線 (東地区循環南山経由)	1.5回	3.4人	2.0人	1.7人

※運行回数は往復で1回となる。片道のみの場合は0.5回となる。

○目標・効果の達成状況について

公共交通空白地となっていた地域において計画どおり運行を行ったことにより、この地域で生活する住民の買い物、通院などの日常生活に必要な移動手段を確保するなど、一定の効果は得られました。

しかし、②と④の路線において、1日当たりの利用者数が計画目標を下回る結果となりました。

○見直し基準について

平成28年5月の協議会で、利用者数の増加を目指していくための地域内フィーダー系統生活確保維持計画の目標とは別に、補助対象路線の見直し等を検討するための基準を設定しました。

②と④の路線において、1日当たりの利用者数が見直し基準を下回る結果となりました。

○今後の対応方針について

②と④の路線において、計画目標と見直し基準の両方を下回ったことから、利用者数の増加のために、市ホームページや広報紙、作成中の公共交通ガイドブックを活用して、PRを行うとともに乗車実態を調査します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 加東市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神姫バス株式会社	運行日数 242日 年間運行回数 847回 ①天神電鉄小野駅線(南山経由) ②天神松沢線(南山経由) ③天神電鉄小野駅線(東地区循環南山経由) ④天神松沢線(東地区循環南山経由)	前回の評価で、目標とする利用者数を達成できなかったため、その目標とする利用者数を達成するため、公共交通ガイドブック作成、地域公共交通ネットワーク形成などの地域公共交通網形成計画に記載された事業を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 公共交通空白地となっていた地域において計画どおり運行を行ったことにより、この地域で生活する住民の買い物、通院などの日常生活に必要な移動手段を確保するなど、一定の効果は得られた。しかし、1日当たりの利用者数については2路線で目標を下回る結果となった。 【1日あたりの利用者数】 <計画> <実績> ①3.0人 → 5.0人 ②1.0人 → 0.9人 ③5.8人 → 7.1人 ④3.4人 → 1.7人	利用者数の増加のために、市ホームページや広報、平成29年度に作成した公共交通ガイドブックを活用して、PRを行う。また、補助対象路線の乗車実態を調査し、より利用しやすい運行ダイヤや路線の変更について検討を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

協議会名: 加東市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
市内の鉄道、路線バス、高速バス、タクシー、市町村運営有償運送の路線や乗り方、時刻表、料金表等を記載した公共交通ガイドブックを作成した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	作成した公共交通ガイドブックは、市民に全戸配布するとともに、今後のモビリティ・マネジメントに活用する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名:	加東市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	加東市東条地域においては、広域幹線路線である社三田線や天神電鉄小野線を中心に路線バスが運行されているが、公共交通サービスは十分ではない。 平成26年10月から、東条地域内において路線バスの拡充を行い、昼間の買い物、通院および市役所への移動手段の確保に繋げている。今後、拡充路線の運行ダイヤや路線の見直しによる、利便性向上で、利用者数増加を図ることで、拡充路線を継続運行し、公共交通空白地における移動手段の確保を目指す。

加東市地域公共交通活性化協議会

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

○地域特性

人口について、平成27年国勢調査において、人口増加となったが、今後少子高齢化や人口減少社会の進行により、本市においても人口減少期に入り、まちの活力を担う生産年齢人口が減少し、人口構造が大きく変化することが予想される。

産業について、国内生産量の約9割を誇る釣り針「播州針」や鯉のぼり「播州鯉」、雛人形など、多くの伝統産業があり、また、北播磨の交通の要衝として、4つの工業団地に製造業・流通業が進出している。

少子高齢化の進展やマイカーなどの普及により、路線バスをはじめとした公共交通機関の利用者は年々減少しており、学生や高齢者など移動手段を持たない者にとって重要な役割を果たす公共交通機関の維持確保が難しい状況である。

○計画の基本方針（地域公共交通網形成計画 P88、89 参照）

- ・地域公共交通を維持・確保、活性化し、機能的なまちづくりを支える。
- ・広域的な視点で、地域公共交通ネットワークを形成する。
- ・多様な地域公共交通の利用環境を整備する。
- ・地域公共交通を地域ぐるみで守り、育てる。

○計画の目標及び期間（地域公共交通網形成計画 P90、91、92 参照）

目標

- ・地域公共交通の利用者数の増加
- ・市民及び地域による地域公共交通確保への主体的な取組
- ・地域公共交通によるまちのにぎわいの創出

期間

平成29年度から平成33年度までの5年間

○公共交通の将来像（地域公共交通網形成計画 P87 参照）

暮らしを支え、交流を促進し、地域が主体的に取り組む、持続可能な地域公共交通

- ・地域が主体的に取り組む持続可能な地域公共交通
- ・若者世帯を中心に移住・定住を一層促進するなど、元気なまちを支える地域公共交通
- ・地域間の交流促進やまちの魅力向上など様々な効果をもたらす地域公共交通

2. 計画の達成状況の評価に関する事項

評価・検証にあたっては、目標数値の定量的な評価だけでなく、目標を達成するために行う各施策の実施状況などを踏まえて総合的に判断する。

また、定量的評価は、基本的には計画に掲げる目標数値の達成状況によることとするが、必要に応じて市民アンケート調査などを実施する。

(地域公共交通網形成計画 P134 参照)

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

○公共交通の概要、問題点、経緯

少子高齢化の進展やマイカーなどの普及により、路線バスをはじめとした公共交通機関の利用者は年々減少しており、学生や高齢者など移動手段を持たない者にとって重要な役割を果たす公共交通機関の確保が難しい状況にある。自家用車に依存したライフスタイルが浸透しており、自家用車中心の生活から地域公共交通への転換には、地域公共交通ネットワークの形成やサービスの多様化などに取り組む必要がある。

○協議会の開催状況、議論の概要

平成 29 年 5 月 29 日

議題：地域内フィーダー系統生活交通確保維持計画について

加東市地域公共交通網形成計画の推進について

平成 29 年 9 月 26 日 書面協議

議題：地域内フィーダー系統確保維持計画について

自家用有償旅客運送の更新登録及び変更登録について

平成 30 年 2 月 27 日（開催予定）

議題：加東市地域公共交通網形成計画の進行管理について（予定）

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
公共交通ガイドブック作成	加東市	H29.6~H30.3	推	市内の鉄道、路線バス、高速バス、タクシー、市町村運営有償運送の路線や乗り方、時刻表、料金表等を記載した公共交通ガイドブックを作成した。
地域公共交通ネットワーク形成	加東市 交通事業者	H29~H34	フ	運行ダイヤや路線の見直しによる利便性の向上に取り組んでいる。

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
再策：再編計画策定事業、再推：再編計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
市町村運営有償運送	加東市	H24~	公共交通空白地における移動手段を確保するため、市町村運営有償運送の運行を地域と協働で、取り組んでいる。

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

4. 具体的取組に対する評価

○生活交通確保維持改善計画に係る目標値についての評価

①天神電鉄小野駅線（南山経由）

	目標値	実績値
運行回数	1日0.5回	1日0.5回
利用者数	1日当たり3.0人	1日当たり5.0人

②天神松沢線（南山経由）

	目標値	実績値
運行回数	1日1.0回	1日1.0回
利用者数	1日当たり1.0人	1日当たり0.9人

③天神電鉄小野駅線（東地区循環南山経由）

	目標値	実績値
運行回数	1日0.5回	1日0.5回
利用者数	1日当たり5.8人	1日当たり7.1人

④天神松沢線（東地区循環南山経由）

	目標値	実績値
運行回数	1日0.5回	1日0.5回
利用者数	1日当たり3.4人	1日当たり1.7人

公共交通空白地となっていた地域において、計画どおり運行を行ったことによって、一定の成果は得られた。一方で、②、④の路線において、1日あたりの利用者数が目標値を下回る結果となった。

○フィーダー系統の幹線への影響についての評価

天神バス停から社三田線への接続を図り、収支状況の改善を目指したが、利用者数は、平成28年度より減少しており、収支の改善には至らなかった。

○地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金事業についての評価

計画の位置づけどおり、適切に実施できた。引き続き路線を継続運行し、公共交通空白地における移動手段を確保する。

○計画推進事業についての評価

計画の位置づけどおり、適切に実施できた。今後は、作成した公共交通ガイドブックを市民に全戸配布するとともに、モビリティマネジメントに活用し、地域公共交通の利用者の増加に繋げていく必要がある。

○地域公共交通網形成計画に設定した目標の達成状況について

目標：地域公共交通の利用者の増加

利用者数増加のため、公共交通ガイドブックを作成した。今後は、作成した公共交通ガイドブックを活用して、PRを行い、利用者数増加に努める。

目標：市民及び地域による地域公共交通確保への主体的な取組

地域の主体的な取組による移動手段を維持するため、市町村運営有償運送の運転手報酬を1往復あたり2,000円から3,000円に増額し、待遇を改善した。

地域の主体的な取組による移動手段の拡大については、公共交通空白地の地域の代表者を対象に、市町村運営有償運送導入に向けた説明会を行ったが、積極的な導入の検討までは至らなかった。

目標：地域公共交通によるまちのにぎわいの創出

新たな交通結節点の整備として、やしろショッピングパーク Bio 周辺にバスターミナルを整備する計画としており、そのために、市役所内でプロジェクトチームを立ち上げ、バスターミナルの形態・機能・規模について調整した。また、神姫バス株式会社と協議を行い、神姫バス社営業所、車庫を移設することについて、社内で調整していただいている。引き続き、庁内会議と神姫バスとの協議を進めるとともに、関係機関との調整の準備を進める。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
地域公共交通の利用者数の増加に向けて	地域公共交通網形成計画を推進し、より利用しやすい運行ダイヤや路線を検討する。加えて、市ホームページや公共交通ガイドブックを活用したPRを行い、利用促進を図る。
公共交通空白地における市町村運営有償運送の導入について	地区役員や住民への説明会を順次開催するとともに、市町村運営有償運送のPR動画を活用し、地域が主体的に取り組む機運を高め、早期に実現できるよう福祉部局とも連携しながら、取り組む。

加東市地域公共交通活性化協議会

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
<p>通学、買い物、通院などに対応するため、移動手段の確保を行っている。事業実施の適切性については自己評価どおり評価できる。目標・効果の達成状況については、目標としていた利用者数に達していない。今年度、地域公共交通網形成計画の策定に取り組みましたので、計画に記載された事業を行い、目標達成されることを期待する。</p>	<p>前回の評価で、目標とする利用者数を達成できなかったため、その目標とする利用者数を達成するため、公共交通ガイドブック作成、地域公共交通ネットワーク形成などの地域公共交通網形成計画に記載された事業を実施した。</p>	<p>利用者数の増加のために、市ホームページや広報、平成 29 年度に作成した公共交通ガイドブックを活用して、PR を行う。 また、補助対象路線の乗車実態を調査し、より利用しやすい運行ダイヤや路線の変更について検討を行う。</p>

2. アピールポイント、特に工夫した点など

公共交通空白地の解消手段として、地域の主体的な取組による市町村運営有償運送が有効に機能していることから、その取組を広げるため、市町村運営有償運送の取組を紹介する PR 動画を作成している。

- 凡例
- JR
 - 路線バス（神姫バス・神姫グリーンバス）
 - 高速バス（神姫バス・西日本JRバス・ウエスト神姫）
 - きよみずバス
 - 米田ふれあい号（地区住民利用区間）
 - 米田ふれあい号（移動困難者利用区間）

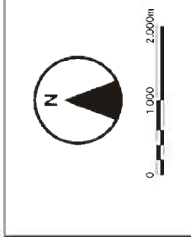
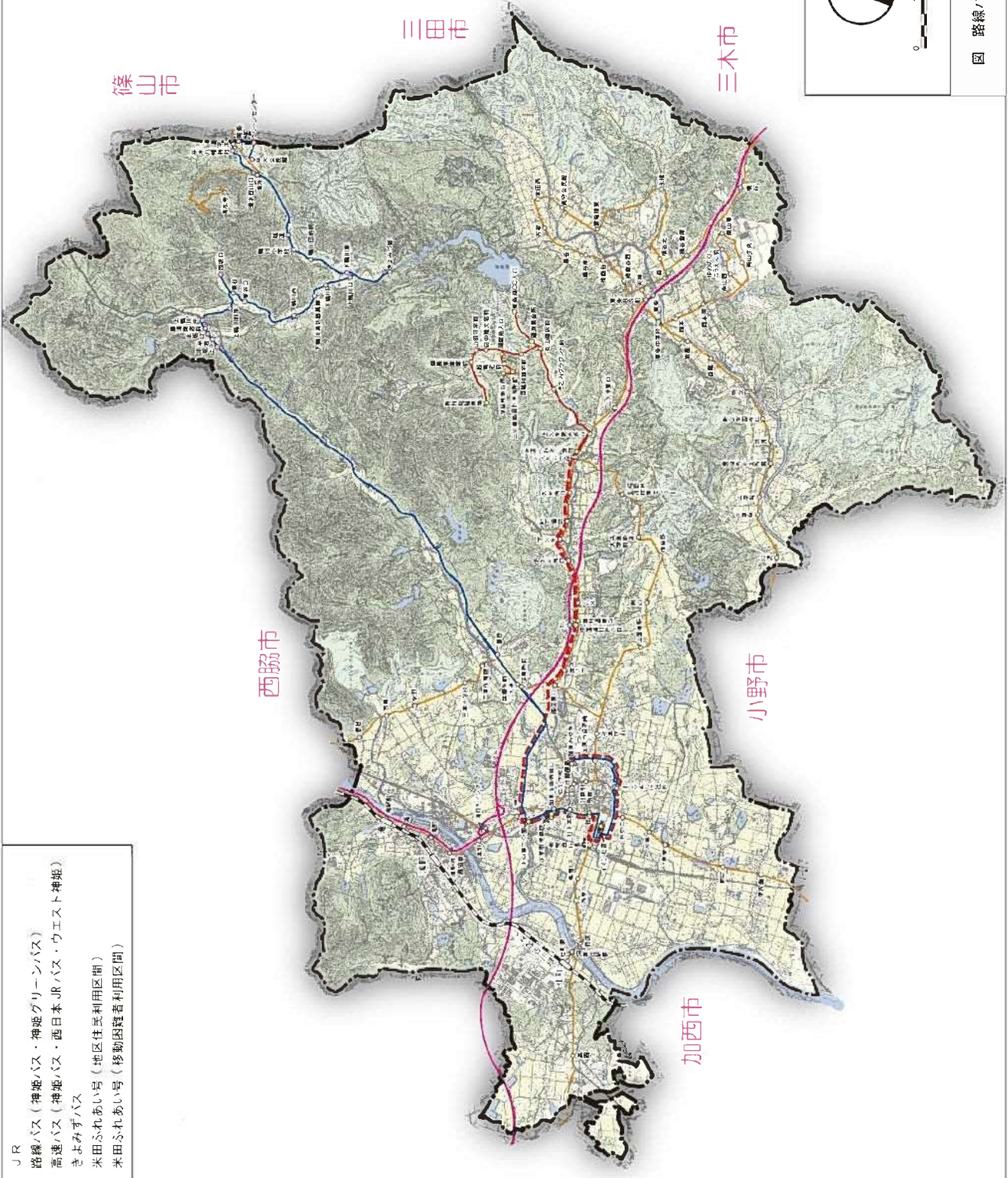


図 路線バスの運行状況